

# 一般質問

第2回定例会では、5人の議員が質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。  
なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

## 市民連合



田上 辰也 議員

### 質問1 藤崎台球場の移転と市電の延伸に関する検討

藤崎台県営野球場の移転と市電の延伸は市民から期待されているところ。検討状況と今後の方針はどうか。

答弁 藤崎台球場が抱える課題整理のため、県・市間で協議を始めた。市電の延伸は、調査に着手し、実現に向けて強い気持ちで取り組む。

### 質問2 学校のバリアフリー化整備推進計画について

学校のバリアフリー化は他都市と比較して立ち遅れている。数値目標を定めた整備推進計画を策定してはどうか。

答弁 今後、「学校施設長寿命化計画」の策定に併せて、バリアフリーの計画についても検討していく。



## 公明党



三森 至加 議員

### 質問1 子どもの医療費助成について

助成対象年齢拡大の早期実現に向け、具体的にどのような対策を考えておられるのか。

答弁 持続可能な制度となるよう、総合的に検討している。今年度中に、新たな助成制度の案を示し、できる限り早く実現したい。

### 質問2 障がい者福祉サービス支給基準について

本市独自の支給基準を採用したことにより、本来の主旨が損なわれないよう、きめ細かな対応を求める。

答弁 本市の支給基準は、国の基準を基に作成しており、実際の運用では、障がい当事者の状況に応じたきめ細かな対応を行っている。



## 共産党



山部 洋史 議員

### 質問1 小中学校普通教室へのエアコン設置について

子どもたちの授業環境改善を図るために中学校に続き、来年度は小学校へのエアコン設計予算を確保すべき。

答弁 相当額の経費を要するため、国庫補助や予算全体の状況を勘案し検討を進めるが、できるだけ早い時期に実現できるように努めていく。

### 質問2 公園の花苗配布事業休止について

市民の憩いである公園花壇の維持のため、年間わずか115万円の花苗配布は休止を撤回し、配布を再開すべき。

答弁 公園の花々が人々に与える効用は大きいと考えるため、地元の方々の意見を伺いながら花苗配布などの支援のあり方を検討していく。



## 自民党



小佐井 賀瑞宜 議員

### 質問1 学校教職員不足への対応について

本年4月に学校の教職員不足によって担任不在のクラスが多数発生したが、今後の課題解消策について見解を問う。

答弁 採用計画を精査し、正規教員の拡充を図るとともに、早くから関係機関とも連携協力しながら、臨時教員の確保に努める。



### 質問2 教育委員会分室(教育事務所)設置について

本市教育行政を円滑に支えるため、組織改編と共に各区役所に教育委員会分室を設置すべきと思うが見解を問う。

答弁 教育委員会事務局での全体的・一体的な教育行政が必要と考えるが、今後、学校現場の状況を把握する取り組み等も研究していく。

## 市政クラブ



落水 清弘 議員

### 質問1 子供を産み育てる行政施策について

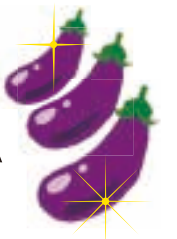
ICT(※2)社会対応のため、子供を産み育てる施策全般のホームページ作成と、市刊行物へのQRコード導入をするべきです。

答弁 子育ての総合的情報サイトについては、ホームページの作成に向け作業を始めている。また、QRコードの活用は、導入に向け積極的に検討する。

### 質問2 IPM(総合的病害虫・雑草管理)農業の導入

高知県で導入しているナスIPM(※3)農業を、ナス生産日本一の熊本市でも導入し、減農薬ナスブランドを確立すべき。

答弁 多くの生産者がIPMに取り組めるよう、県やJA等の関係機関と連携し引き続き支援することで、環境にやさしい農業の推進に努める。



## 分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

### 総務

#### ●適正な債権管理のあり方について

・債権管理のあり方に関する調査研究については、開始から既に2年が経過しているにもかかわらず、いまだ成果を伴っていないことから、スピード感をもって取り組んでもらいたい。

・債権管理においては、滞納者の生活状況を的確に把握し、生活実態に即した徴収に努める取り組みについても行ってもらいたい。



### 教育市民

#### ●個人番号カードについて

マイナンバー制度において導入される個人番号カードについては、当該カードの普及が進むよう市民に対して積極的な情報提供に努めてもらいたい。



#### ●教科書採択について

教科書採択を行う本年は戦後70年の節目の年にあたることから、選定においては、歴史認識の重要性を踏まえ、透明性を持って、慎重に行ってもらいたい。

### 厚生

#### ●障がい者相談支援事業

未決定である東区エリアの委託業者を早期に決定し、また、各障がい者相談支援センターのサービス内容に格差が生じないように、各センター間の情報共有に努めてもらいたい。



#### ●保育所等への職員の適正配置

保育サービス水準の確保のため、保育士の配置要件は緩和することなく、保育士以外に必要な有資格者についても、別途、配置すべきである。

### 環境水道

#### ●資源物の持ち去り行為防止対策について

アルミ缶等の資源物持ち去り行為は近年増加しており、住民とのトラブルなど市民生活の安心安全に影響を与えている。市は警察に協力を求める等、積極的な防止対策を講じてもらいたい。

#### ●新西部環境工場について

今年度末稼働予定の新西部環境工場は、先進的なごみ処理機能に加え、環境やリサイクルについて学べる設備も有することから、市民のために有効活用できるよう努力してもらいたい。



### 経済

#### ●桜町再開発事業について

全体事業費や民間事業の内容など、市民への情報提供が不十分なので、今後は事業の進捗状況に応じて、随時、情報提供を行い、市民への説明責任を果たしてもらいたい。

#### ●ラグビーワールドカップ2019推進事業

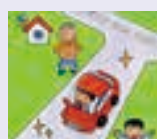
組織委員会や推進協議会への負担金については、用途を明確にし、事業の透明性を高めるとともに、議会への説明もお願いしたい。また積極的なPR活動を行ってもらいたい。



### 都市整備

#### ●市道の管理について

これまでの合併等により本市に移管した、特に、現在の認定基準に満たない狭小道路について、現状把握を行うとともに、道路台帳を整備するなど適切な財産管理に努めてもらいたい。



#### ●設備の総点検と賠償責任保険の検証について

公共施設の整備不良を起因とする人命に関わるような事故もあるやに聞くと、施設設備の総点検を求めるとともに、本市加入の賠償責任保険の補償内容の検証を求めたい。